

香川高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	法学		
科目基礎情報							
科目番号	0021		科目区分	一般 / 選択			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 2			
開設学科	創造工学専攻 (機械電子工学コース) (2023年度以前入学者)		対象学年	専2			
開設期	前期		週時間数	2			
教科書/教材							
担当教員	河野 通弘						
到達目標							
1. 法学に関する情報社会問題についての理解を深められること 2. 憲法、および関連法律の論点を把握しうること 3. それぞれの法領域の問題について論理的に説明できること。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	情報社会の論点を論理的に十分説明できる		情報社会の論点について相当な説明ができる		情報社会についての基本的知識を説明できない		
評価項目2	情報社会と憲法問題を論理的に十分説明できる		情報社会の憲法の問題について相当な説明ができる		情報社会と憲法のかかわりを説明できない		
評価項目3	情報社会と民刑事法の論点を論理的に十分説明できる		情報社会と民刑事法の論点について相当な説明ができる		情報社会と民刑事法のかかわりを説明できない		
学科の到達目標項目との関係							
学習教育目標 A-1							
教育方法等							
概要	情報社会における法の役割についての理解を深め、そのために必要な法知識、および法理論を習得して、健全な法的思考を育成し、社会人として適切な判断能力、および社会性、倫理観を養う。						
授業の進め方・方法	授業テーマに沿ってその法的論点について基本的な解説を行い、現代の情報社会が抱える様々な法的諸問題にアプローチして、問題点の発見、法理論の対応を考察していく。毎回、レジュメ、資料を配布する。						
注意点	自学自習時間のエビデンスを授業のテーマごとに沿って提出してもらう。						
授業計画							
	週	授業内容		週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週	ガイダンスと情報法社会の諸問題		情報の用語史、現代情報社会の問題点を説明できる		
		2週	情報社会と表現の自由		法制度の趣旨、論点整理、対応する法理論を説明できる		
		3週	表現権と名誉毀損、プライバシー侵害(1)		法制度の趣旨、論点整理、対応する法理論を説明できる		
		4週	表現権と名誉毀損、プライバシー侵害(2)		法制度の趣旨、論点整理、対応する法理論を説明できる		
		5週	特定電気通信役務提供者の責任		法制度の趣旨、論点整理、対応する法理論を説明できる		
		6週	インターネットと検索エンジンシステム		法制度の趣旨、論点整理、対応する法理論を説明できる		
		7週	インターネットと検索エンジン問題の事例検討		法制度の趣旨、論点整理、対応する法理論を説明できる		
		8週	中間試験				
	2ndQ	9週	試験解説と総評、今後の課題		法制度の趣旨、論点整理、対応する法理論を説明できる		
		10週	インターネットにおけるわいせつ問題(1)		法制度の趣旨、論点整理、対応する法理論を説明できる		
		11週	インターネットにおけるわいせつ問題(2)		法制度の趣旨、論点整理、対応する法理論を説明できる		
		12週	情報社会とGPS機器利用問題(1)		法制度の趣旨、論点整理、対応する法理論を説明できる		
		13週	情報社会とGPS機器利用問題(2)		法制度の趣旨、論点整理、対応する法理論を説明できる		
		14週	車の自動運転と交通事故(1)		法制度の趣旨、論点整理、対応する法理論を説明できる		
		15週	車の自動運転と交通事故(2)		法制度の趣旨、論点整理、対応する法理論を説明できる		
		16週	期末試験				
モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	80	0	0	0	0	0	80
専門的能力	20	0	0	0	0	0	20
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0